

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【公表番号】特表2012-529071(P2012-529071A)  
 【公表日】平成24年11月15日 (2012.11.15)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-048  
 【出願番号】特願2012-513579(P2012-513579)  
 【国際特許分類】

**G 0 2 B 5/18 (2006.01)**  
**B 4 4 C 1/24 (2006.01)**  
**B 4 4 C 1/22 (2006.01)**  
**B 4 4 F 1/06 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 B 5/18  
 B 4 4 C 1/24 A  
 B 4 4 C 1/24 B  
 B 4 4 C 1/22 B  
 B 4 4 F 1/06

【手続補正書】  
 【提出日】平成25年3月1日 (2013.3.1)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

光回折効果をもたらす複製された微細構造 ( 1 0 4 ) を標的表面 ( 1 2 0 ) 上に生成するための方法において、

転写箔 ( 1 0 0 ) であって、光回折効果をもたらす元の微細構造 ( 1 0 2 ) が当該転写箔 ( 1 0 0 ) の表面上に存在する転写箔 ( 1 0 0 ) が使用され、

該転写箔が、前記元の微細構造が前記標的表面と接触するように、該標的表面上に設置され、

前記転写箔が、該転写箔の材料のガラス転移温度に近いが該転写箔の材料の融解温度よりも低い温度に加熱せしめられ、

該転写箔が前記標的表面から取り除かれることを特徴する、方法。

【請求項 2】

前記転写箔が前記加熱中又は該加熱後に前記標的表面に対して押圧されることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記元の微細構造 ( 1 0 2 ) が熱エンボス加工によって前記転写箔 ( 1 0 0 ) の表面内に生成されることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

転写箔 ( 1 0 0 ) が使用される当該方法において、該転写箔の材料が熱可塑性プラスチックであることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記転写箔 ( 1 0 0 ) の材料が酢酸セルロースであることを特徴とする、請求項 4 に記載の方法。

**【請求項 6】**

前記転写箔（１００）の材料が二酢酸セルロース又は三酢酸セルロースであることを特徴とする、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記転写箔（１００）が１００～１３０ の温度に加熱せしめられることを特徴とする、請求項 4～6 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記転写箔（１００）が手作業で前記標的表面（１２０）に対して押圧されることを特徴とする、請求項 2～7 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記転写箔（１００）が前記標的表面（１２０）上に設置される前に、接着性を改善する物質が分配されることを特徴とする、請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 10】**

複製された微細構造（１０４）が前記標的表面（１２０）内に生成され、該標的表面の法線方向における前記複製された微細構造の高さが １００～２００ nm であることを特徴とする、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 11】**

光装飾効果をもたらす複製された微細構造（１０４）が前記標的表面（１２０）上に生成されることを特徴とする、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 12】**

光ビームのための結合回折格子として機能する複製された微細構造（１０４）が前記標的表面（１２０）上に生成されることを特徴とする、請求項 1～11 のいずれか 1 項に記載の方法。

**【請求項 13】**

光回折効果をもたらす複製された微細構造（１０４）を標的表面（１２０）上に生成するための転写箔（１００）であって、

光回折効果をもたらす元の微細構造（１０２）が当該転写箔の表面上に存在し、前記元の微細構造は、当該転写箔がガラス転移温度に近く且つ前記標的表面に対して押圧されると、該標的表面に接着するように構成されることを特徴とする、転写箔（１００）。

**【請求項 14】**

当該転写箔（１００）の材料が熱可塑性プラスチックであることを特徴とする、請求項 13 に記載の転写箔（１００）。

**【請求項 15】**

当該転写箔（１００）の材料が酢酸セルロースであることを特徴とする、請求項 14 に記載の転写箔（１００）。

**【請求項 16】**

当該転写箔（１００）の材料が二酢酸セルロース又は三酢酸セルロースであることを特徴とする、請求項 15 に記載の転写箔（１００）。